



2023年3月22日

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社
アウディ ジャパン
プレスサイト <http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120-598106
アウディコミュニケーション センター

アウディ、アウトシュタットに House of Progress を開設

- 持続可能性をテーマとする、初の常設展 House of Progress 開設
- 展示コンセプトは、デジタル化、デザイン、パフォーマンス、そして持続可能性
- 主要な大都市に期間限定の House of Progress を開設

(ドイツ本国発表資料) 2023年3月21日、ウォルフスブルク：アウディは、ウォルフスブルクの自動車博物館 Autostadt(アウトシュタット)のアウディパビリオンを完全にリニューアル、House of Progress と呼ばれるコンセプトに基づいた常設展示へと改装しました。アウトシュタットを訪問した方々に、アウディの4つのブランドバリュー（デジタル化、デザイン、パフォーマンス、サステナビリティ）を理解いただくことを目的としています。House of Progress コンセプトは、アウディとつながり、会社の歴史や製品、その価値を知っていただくスペースを提供します。その結果、人々とアウディの間に絆が生まれることを期待しています。この展示スペースで車両は販売されていません。ここでは、関連するコンテンツや製品に直接触れていただくことで、来場者にアウディの考え方を理解していただくことを目的としています。

アウトシュタットの常設展とは別に、主要な大都市で、期間限定の House of Progress が開設されます。2022年にはウィーン、ソウル、ミラノでオープン、2023年春にはサウジアラビアの首都リヤドでも House of Progress が開設。さらなる展開も計画されています。

ウォルフスブルクに開設された House of Progress

House of Progress の開設にあたり、アウトシュタット既存のアウディパビリオンでは、建物の内部が完全に新しくなり、内装のリノベーションに加えて、展示コンセプトにも大きな焦点が当てられました。透明性を高め、新しい展示内容と新しい視野を生み出すため、建物の中央階段を含むロタンダ（円形広場）を形成する鉄筋コンクリート部分に、開放的なスペースが創出されました。

新設された House of Progress は、アウディの持続可能性に対する真剣な取り組みが、製品、生産、サプライチェーンだけでなく、お客様やファンの方々との接点にもあてはまることを示しています。House of Progress の背景にある考え方は、持続可能性の目標に完全に沿ったもので、今後新たな造作は必要とせず、変更されるのは、デジタルコンテンツと車両などの展示物だけです。そうすることで、新しいトピックや製品を各展示場所に、すばやく簡単に設置することが可能になります。これは、Future is an attitude というアウディのメッセージを体現するもので、柔軟なコンセプトを取り入れることにより、来場者にアウディブランドを具体的かつ現実的に体験してもらうことに重点を置いています。

House of Progress の入口に設置された Table of Visions は、アウディの将来のビジョンを示しています。入口から展示エリアへと続く通路では、ブランドに関する様々なトピックや質問を見ることができます。

展示の見どころ

1階では、デジタル化とデザインに関する展示が行われています。ここには、Audi A6 e-tron concept および Audi A8 60 TFSI e プラグインハイブリッドが展示され、その横には長いボードが設置されて、デジタ

ル化とデザインに関するアウディの取り組みを見ることができます。デジタル分野の例としては、インタラクティブな OLED マトリックスリアライトが挙げられます。この展示では、様々なアニメーションを楽しく表示し、テクノロジーの可能性を明らかにします。さらに、リサイクル素材のEconyl（エコニール）、Audi e-tron GT quattroのクレイモデル、現行モデルのカラーパレットを採用して3Dプリンターで製作した花瓶なども展示されています。来場者は、Audi Design（アウディのデザイン部門）が作成したスケッチを、自宅に持ち帰ることができます。

House of Progress では、Audi A6 e-tron コンセプトのヘッドライトを模したプロジェクターが設置され、アウディの先進的なライティングテクノロジーの可能性を楽しく体験することができます。2階のパフォーマンスエリアへと繋がるフロアでは、プロジェクションマッピングが投影されています。その画像は、パフォーマンスエリアで上映される映画の音声信号をベースにしたもので、音量、明るさや動きに応じて変化します。

Audi RS e-tron GT と Aerofoils による Audi e-tron foil のショーケースが、ライフスタイルにパフォーマンスのブランドバリューを、Sustainability Table（サステナビリティテーブル）と呼ばれる展示では、Audi Q4 e-tron とともに、循環型経済と持続可能なコラボレーションに関する情報を提供します。

パビリオンの中心部は、開放スペースとなったロタンダに設置された Blog of Progress で、それぞれの展示フロアと入口を空間的に接続しています。Blog of Progress では、日々更新されるアウディの最新ニュースやハイライトを見ることができます。ソーシャルメディアの展示コーナーでは、誰でも、ツアーの最後にコンセプトカー、sphere（スフィア）ファミリーのリアシートに座ることができます。

※本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。